

請願第10号

令和7年8月27日受理

令和7年9月3日提出

「カリキュラム・オーバーロード(教育課程過多)」
の改善を求める意見書の請願について

紹介議員

竹花邦彦

西村昭二

田中尚

古館博

2025年8月27日

宮古市議会議長 橋本 久夫 様

請願者

住 所 岩手県宮古市田の神2-2-30
氏 名 岩手県教職員組合下閉伊支部
支部長 鈴木 永輝
電 話 0193-62-1419



紹介議員

竹花 邦彦

西村 昭二

田中 尚

古館 博

「カリキュラム・オーバーロード（教育課程過多）」の改善を求める
意見書の請願について

請 願 書

「カリキュラム・オーバーロード（教育課程過多）」の改善を求める 意見書の請願について

<請願趣旨・理由>

今、学校現場では、不登校の児童・生徒数が小・中・高当学校を合わせて41万人を超えるという深刻な状況が、文部科学省の2024年度調査により明らかになっています。小・中学校では11年連続の増加、高等学校においても過去最多となり、子どもたちの学びや成長の機会が脅かされています。加えて、子どもの貧困・いじめ・虐待・自殺・そして教職員不足、なり手不足など、教育を取り巻く課題は山積しています。さらに、教職員の長時間労働の実態も依然として改善されず、教材研究や授業準備といった教育の本質にかかわる業務に十分な時間を確保できない状況です。

このような中、次期学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や、教職員の働き方改革の実現に深くかかわるものであり、その見直しが喫緊の課題となっています。各学校は国の教育課程基準に基づき、学校が定めた教育課程の時数の中で学習内容を指導していますが、その時数と学習内容が過多（カリキュラム・オーバーロード）になっていて、子どもや教職員に過大な負担がかかっています。具体的には、指導内容（学習しなければいけない内容と量）が増えていること。毎日の授業時間数が増え、小学校高学年の児童、中学生は毎日6時間授業になってしまうこと。2017年（平成29年）小学2年生の授業時数は1989年（平成元年）の5・6年生を上回っています。この現状から放課後の子どもと話す時間、係活動、児童会や生徒会活動のような諸活動時間もとれなくなっているのです。

一日の学校生活にまったくゆとりのないことが、子どもたちと教職員を追い詰めています。学校の現状を抜本的に改善するためには、指導内容の精選および標準授業時数の削減が必要不可欠です。

よって、地方自治法第99条の規定に基づき、下記の事項について国の関係機関に意見書を提出されるよう請願いたします。

【請願事項】

1. 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、学習指導要領の内容の精選等を行い、「カリキュラム・オーバーロード」の状態を早期に改善すること。